

「災害時における栄養・食生活支援」についての取り組み

近年、東日本大震災、熊本地震、大阪北部地震等の発生と南海トラフ地震発生の危険性が高まる中、災害時の被災住民の栄養・食生活支援のために健康局・区役所栄養士が行う業務マニュアルを改訂・整備しました。

市民に対しては、災害時を想定した料理教室等の開催や、その他、健診・講座などの機会をとらえて、家庭での自助をすすめるため、食品の備蓄や「ローリングストック」を意識した食生活を実践するよう市民に啓発を行いました。また、各区において開催している「食育推進ネットワーク会議」や保健所が実施する「特定給食講演会」において、施設における災害時の食のマニュアル作りや食品備蓄についての情報交換会、グループワーク等を実施しました。

大阪市ホームページにおいては、既存の「災害時の食の備え」「災害時でも簡単に作れる野菜レシピ」に加えて「災害時などに避難が必要になったときの食について」のページを新規作成し、広く周知しています。

講座等の開催（平成31年1月現在）					
	主催	開催回数	参加者		
			計	再掲 (20歳未満)	再掲 (20歳以上)
料理教室・講座等の開催	区役所	44回	1,505人	54人	1,451人
	健康局	2回	552人	—	552人
その他 健診・講座等での啓発	区役所	175回	3,757人	136人	3,621人
	計	221回	5,814人	190人	5,624人



食育推進ネットワーク会議でのワークショップ



中学校での災害時レシピの調理実習